



すくすく



附属小学校
生活部だより第6号
令和4年10月31日

自然の学校を100倍楽しもう！ (5年部)

～大洲青少年交流の家～

今年の5年生が設定したテーマ「絆」。このテーマを胸に、9月26日(月)～28日(水)に大洲青少年交流の家に行きました。「自分たちで活動をよりよいものにしていく」という意識を持ち、出発前の準備段階から進んで取り組んでいました。様々な経験を通して一人一人に「自主・責任・協力・感謝」の心が育まれたように感じます。

1日目

肱川でのカヌー体験。子どもたちは覚えがよく、すぐにパドルを使いこなして、自在にカヌーを操っていました。夜は静寂の中、心を落ち着けての座禅です。警策(きょうさく)をいただいた(和尚さんが座禅の時、持っている棒で叩くこと)子もおり、気持ちが引き締まったようです。また、和尚さんの「時間は使うもの。使われるのではない。」というお話が、印象に残ったようです。

2日目

午前、エアロビクス・ユニカール(陸上版カーリング)・自然観察に分散して活動しました。驚くほどの雷雨のため、予定の活動に一部変更が生じましたが、初めて経験する活動も多く、満足顔でした。その後は、カプラ(積み木の一種)と野外炊飯に挑戦です。カプラブロックは1セットに1000ピースあるので、友達とどんどん積み重ねて、思い思いの形をつくりだしていました。また、ダイナミックにつくり上げたものが壊れていく様子さえも楽しんでいました。野外炊飯では、みんなで力を合わせて作ったカレーのおいしさに感動でした。夜はキャンドルサービスです。キャンプファイヤーとはまた違った厳かな雰囲気も素敵でした。各学級の出し物も笑顔あふれるものになりました。この日はさすがに疲れたようで、早く眠りについていました。

3日目

最後を締めくくるのはウォークラリー。チームの絆が試されます。地図だけが頼りの中、迷子になりながらポイントを回り、あれこれ言いながら実習生考案の問題に挑み、最後はみんな一緒にゴール！仲間との絆がこれまで以上に深まったと信じています。

様々な体験から学んだことは、子どもたちの心に深く刻み込まれたことでしょう。大切なのは、「学んだことを生かす」ことです。何を学び、どう生かしていくのか……5年生全員で考えていきます。

しっかり準備をして、気持ちよく送り出してくださいました保護者の皆様や活動をサポートして下さった大洲の職員の方など、今回の活動に関わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(5年部主任 岩城 聡恵)



より速く、より高く、より遠く を目指して！ (陸上部活動)

2学期は、陸上運動の部活動を行いました。今年は、4年生から6年生まで、約70名の子どもたちが入部しました。そして、「より速く、より高く、より遠く」を目指して、午後5時までの放課後練習や朝練習に進んで取り組みました。特に、種目別練習では、各自が選んだ種目の練習に熱心に取り組み、仲間と互いに切磋琢磨し、着実に力を伸ばしていました。

そして、10月25日に、ニンジニアスタジアムにおいて、松山市総合体育大会陸上の部が行われ、本校から、22名の選手が出場しました。各競技において練習の成果を存分に発揮し、多くの選手が県標準記録を突破したり自己記録を更新したりと活躍しました。結果は以下の通りでした。

男子	400mリレー	1位入賞	女子	60m	4位入賞
	60mハードル	1位入賞		走り幅跳び	7位入賞
	60m	3位入賞			
	走り幅跳び	2位、3位入賞			

計8名の選手が11月14日の県大会に出場する権利を得ました。県大会でも、自己記録の更新と上位入賞が期待されます。応援よろしくをお願いします。

(体育部 船田みどり)



相談室より

11月の相談日

1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)、29日(火)

13:00~17:00

予約専用電話 090-9451-9693



(切り取り)

子どもたちの様子等で、気付かれたことやぜひ紹介したいことがありましたら、学級担任までご提出ください。